

# かけはし

足柄上病院の病院理念

- 「あ」：安全で安心な医療を提供します。
- 「し」：社会の要請を担う政策医療を展開します。
- 「か」：患者中心の医療を実践します。
- 「み」：魅力ある自立した病院を目指します。

立春号（通刊 第75号）



## 「Change」は「Chance」

副院長 加藤 佳央  
かとう よしお



2023年11月ゴジラ-1.0が公開されました。戦後の焦土と化し武装解除された日本に「マサカ」のゴジラが来襲し、戦勝国の応援のない中、日本人だけで力をあわせ立ち向かう怪獣映画です。一旦駆除に成功した様に見えますが、復活も予想されるエンディングでした。

さて、ゴジラの生誕は1954年11月とされているので、今年で70歳となります。足柄上病院の開院は、1950年なので、もうすぐ75周年を迎えます。そして、私も1度目の赴任が1985年6月、その後大学や他の関連病院での勤務を経て1994年に再赴任をした後30年間当院で勤務させていただき、合計40年ほどの間足柄上病院とかかわり、本年3月で定年を迎えます。2度目に足柄上病院に赴任した頃、時代は各疾患領域の専門科への分化が進行する方向となっており、神奈川県西部の公的病院としての岐路に立っていたように思います。各診療科への大学からの医師派遣が不安定で、病院の医師の定員増や診療科の新設に限りがある中、足柄上病院の内科をどうして行くべきか思案する中で、当時の幹部の判断で2001年に総合診療科が設置され、初代の部長に私が任命されました。その後、総合診療専門医制度が誕生し、臓器による選択をせず対応し標準的な医療を提供できる医師の育成の方向性が国から示されましたが、今も地域医療を支える医師が十分に育成されている状況には至ってはいません。

2019年に発生した「マサカ」のCOVID-19には、総合診療科を中心に病院全職員で立ち向かいました。感染症はやっと収束に向かいつつあるようですが、今度は、人、時間、予算が限られる中新たな問題として2024年4月からいわゆる医師の働き方改革に関する法律が施行されます。この30年間「マサカ」と思うような、度重なる多くの変化や問題に職員の皆さんと対応してきました。

今後は新しい世代の方たちが力を合わせて変化に立ち向かっていくことになります。Change（変化）のgをcにかえたらChance（好機）になると言います。問題に対する正解は一つではありません。よりよい解答ができるることを祈念しています。

# DMAT（災害派遣医療チーム）

日本 DMAT 隊員 生田 まさみ  
いくた まさみ

## DMAT とは

「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されています。Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略して DMAT（ディーマット）と呼ばれています。大規模災害や多くのケガ人が発生した事故、感染症のまん延などの現場で、発生からおおむね 48 時間以内から活動できる医療チームです。医師・看護師・事務調整員（薬剤師、放射線技師、事務職員等）により、1 チーム5名で構成されます。災害急性期に活動することによって、ひとりでも多くの命を助けることができるよう私たちは厚生労働省の認めた専門的な研修・訓練を受け、いつでも出動できるように準備しています。

## >足柄上病院 DMAT の派遣実績<

### 1. 熊本地震：医療救護班としての活動実績の例

2016 年 4 月 14 日 21 時 26 分以降に熊本県熊本地方で震度 7 の地震が 2 度発生し、4 月 25 日～28 日の 4 日間、医療救護班として活動しました。主な活動は①避難所の環境調査・避難者の健康状態の把握と診療②深部静脈血栓症チームとしてエコノミークラス症候群の検査・診療を行いました。

① 避難所：避難所は刻々と状況が変化していきます。ライフラインの状況、環境の衛生状態、体調不良者の把握、精神的サポートの有無などを調査していました。被災された方々に声を掛けながら、顔色や表情を観察して話を聴き、血圧を測定しながら健康状態の観察を行ってきました。②深部静脈血栓症チーム活動：災害が発生すると避難所や車中泊を強いられるために、身体の動きが普段より制限されます。そのためふくらはぎの静脈内に血液の小さな血液の塊（血栓）ができやすくなります。血栓が肺や心臓などに飛んでいくと生命の危険に陥る可能性が高くなります。そこで、深部静脈血栓症の早期の発見や予防のために、チームを組んで避難所を巡回しました。



### 2. コロナ感染症対応におけるダイヤモンド・プリンセス号への派遣

2020 年 1 月 20 日に横浜港を出港したダイヤモンド・プリンセス号は世界 57 国から船員 1,068 人、乗客 2,645 人の計 3,713 人が乗船しており 1 月 25 日に香港で下船した男性が新型コロナウイルスに感染していたことが 2 月 1 日確認されました。その後船は横浜港に停泊し検疫が開始されました。足柄上病院 DMAT 隊は、ダイヤモンド・プリンセス号が横浜港に停泊していた期間のうち 2 日間、コロナ感染患者の下船から病院搬送間の患者確認作業、病状の観察、病院への搬送などを行いました。



### 3. 令和 6 年能登半島地震への派遣

2024 年 1 月 1 日、石川県能登地方を震源とする最大震度 7 を観測する地震が発生。1 月 11 日～18 日、DMAT として活動しました。

# 褥瘡対策チームの活動

皮膚科医師 北川 たろう  
きたがわ たろう

褥瘡とは、皮膚直下に骨が突き出て触れる部位に長時間圧力がかかる結果生じる皮膚損傷、いわゆる床ずれのこと。同じ姿勢で寝返りをうてない患者様のお尻にできるものが多いですがそのほか後頭部、肘、背柱、腰、踵などにも生じます。褥瘡の発生は患者様に苦痛をもたらすとともに、この治療のために多くの時間を割くこととなり入院期間の長期化、ひいては患者様の予後悪化にもつながります。したがって褥瘡はできたものを治療するよりも予防することが非常に重要です。当院に入院する患者様の約半数は、褥瘡リスク保有の高齢者であり、日常生活自立度B・Cレベルの寝たきりの患者様が多く入院します。

褥瘡対策チームは、入院患者様のQOLの向上を目指し、褥瘡ケアの質の向上と維持を目的として活動しています。また褥瘡はなくても褥瘡発症リスクのある患者様に対しての適切な体圧分散寝具の選択、予防対策の徹底や褥瘡治療・ケア、職員に対する褥瘡対策研修を行っています。構成メンバーは、専任医師・褥瘡専従看護師・専任看護師・管理栄養士・薬剤師・リハビリテーション科理学療法士・検査技術科・医事診療情報管理課職員・各部署看護職員等の多職種であり、病院全体で褥瘡対策に取り組んでいます。通常平日は専任医師、褥瘡専従看護師が各病棟で生じる褥瘡関連問題に対応しています。毎週木曜日午後の褥瘡回診では専任看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士が加わり、患者様のベッドサイドで管理栄養士は栄養サポートの面から、理学療法士は療養中のポジショニングなどの面から、薬剤師は治療に使う適切な外用剤について適宜助言指導を行います。これらは褥瘡対策チームにはなくてはならない構成要素であり一つが欠けてもよい褥瘡治療、予防はできません。また回診後褥瘡ハイリスクカンファレンスで特に褥瘡リスクの高い患者様について現在の状態、今後の治療について意見交換し現場にフィードバックしています。

近年、褥瘡以外の圧迫創傷として医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)や、高齢者の四肢に多く発生するスキン-テア(皮膚裂傷)の対策にもチームとして取り組んでいます。スキン-テア対策として保湿と四肢の保護を徹底、ベッド柵カバーを導入し対策を強化しました。

これからも患者様の褥瘡対策にチーム一丸となって取り組みます。どうぞよろしくお願いします。

## 糖尿病チームの活動

糖尿病とは、「インスリン」というホルモンの量が不足し、働きが悪くなることで血液中のブドウ糖(血糖)が多くなりすぎた状態(高血糖)が長く続く病気です。

「インスリン」は血糖が正常でいられるように調節する 腺臓から分泌されるホルモンです。

糖尿病で怖いところは、長時間高血糖状態が続くと血液がもろくなり色々な場所で病気が起こることです。

糖尿病チームは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・検査技師で構成され活動しています。

今年度、初の試みで“世界糖尿病デー”に合わせて、「糖尿病ってどんな病気?」や「食事」「運動」「薬」について、糖尿病に関するポスターの展示や患者さん向けのパンフレットの配布などを実施しました。

また、治療に必要な患者さんには“糖尿病1日教室”的ご案内を再開する予定です。



＜糖尿病チームの皆さん＞



# 「医療安全推進週間を終えて」

医療安全推進室

国民の“医療安全に対する理解、認識を深めること”を目的に、厚生労働省が医療安全週間を設けるよう定めています。足柄上病院では11月22日～28日の7日間を医療安全週間とし、院内各部門の医療安全の取り組みを展示しました。

今年は近隣の小中学校に医療安全絵画ポスターの募集に加え新たに川柳の募集（職員も含）もいたしました。とても素敵な作品が届きました。

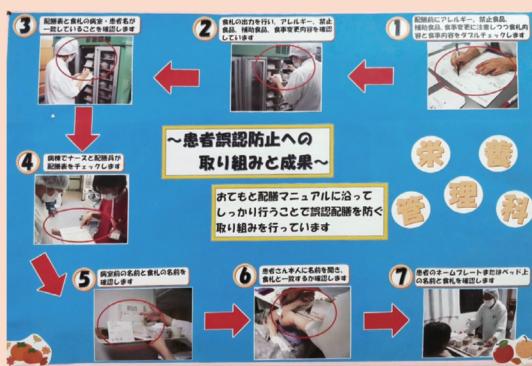
ご応募いただいた作品は院内に展示させていただき、その中から病院長賞、副院長賞、看護局長賞を選出いたしました。病院にお見えになる患者さん・ご家族だけでなく、働く職員も心のこもった素敵な作品に励まされました。ご応募ありがとうございました。

## ご応募いただいた作品♪



### 各部門の医療安全の取り組み展示

テーマ「患者誤認防止対策、転倒・転落防止対策」



### 医療安全川柳



ご参加いただきありがとうございました。





# CT 検査について

放射線技術科 なかむら 中村 ひろき 希

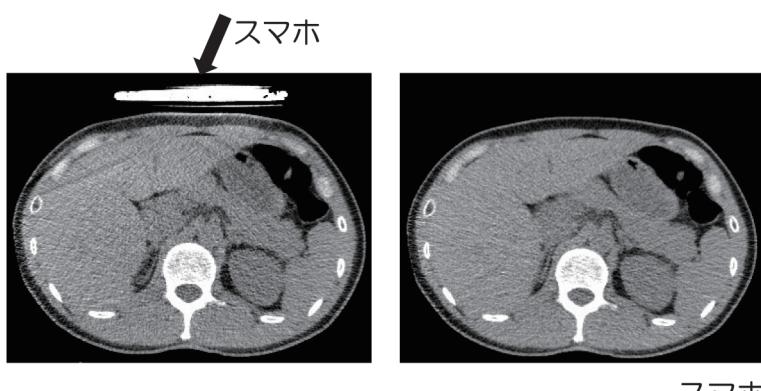
CT (Computed Tomography) とは、X 線を用いて体内の断面（輪切り）画像を撮影するための撮影装置です。患者さんは撮影台に寝た状態で撮影します。撮影台が撮影装置の内側を通り、撮りたい部位を機械に通すことによって撮影できます。

検査にかかる時間はおおよそ 5~20 分くらいです。特殊な CT 検査は 30 分近くかかる場合もあります。

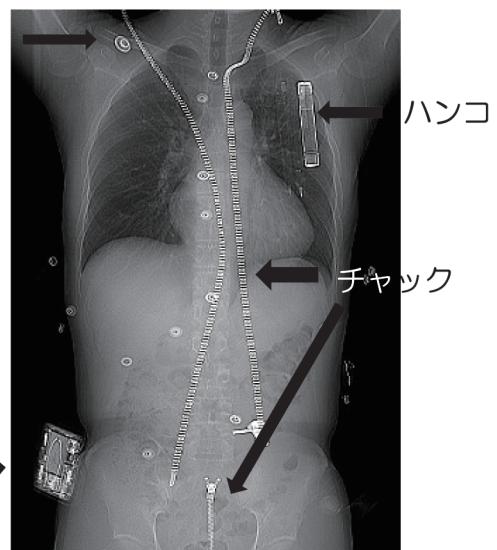


撮影は部位によって息止めをしていただきます。これは呼吸によって体のブレをなくすためです。息止めの時間は長くとも 15 秒ほどです。

CT 検査を受ける際は、外すことが可能な金属製のものを外してもらう場合があります。検査部位に金属があると、その箇所が金属に重なって写らなくなってしまうのです。ただ、CT 検査はプラスチック製のものは身につけていても問題はありません。



ボタン

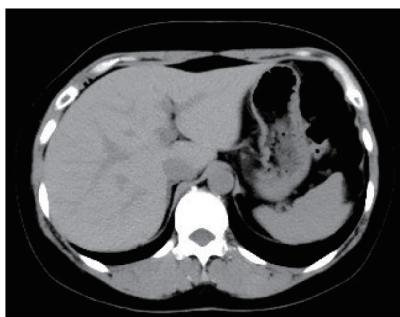


## ●造影剤について

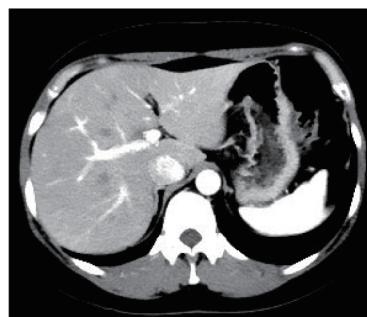
CT 検査では造影剤を用いて検査を行う場合があります。

造影剤は血管や臓器などの体内の構造を明瞭に可視化するために使用されます。造影剤は通常、静脈内に注射される形で行われ、注入後は早ければ 2 分ほど、長くても 10 分ほどの検査時間になります。

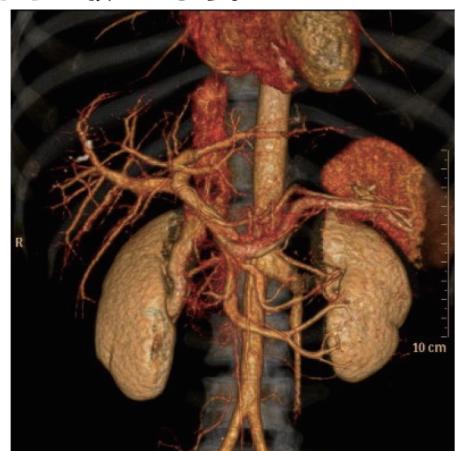
この造影剤はヨード成分を用いた薬剤です。まれにアレルギー反応を起こす可能性があります。造影剤を使用する場合は、説明文書をよく読まれて検査を受けるようお願いします。



造影剤無



造影剤有



3D 画像

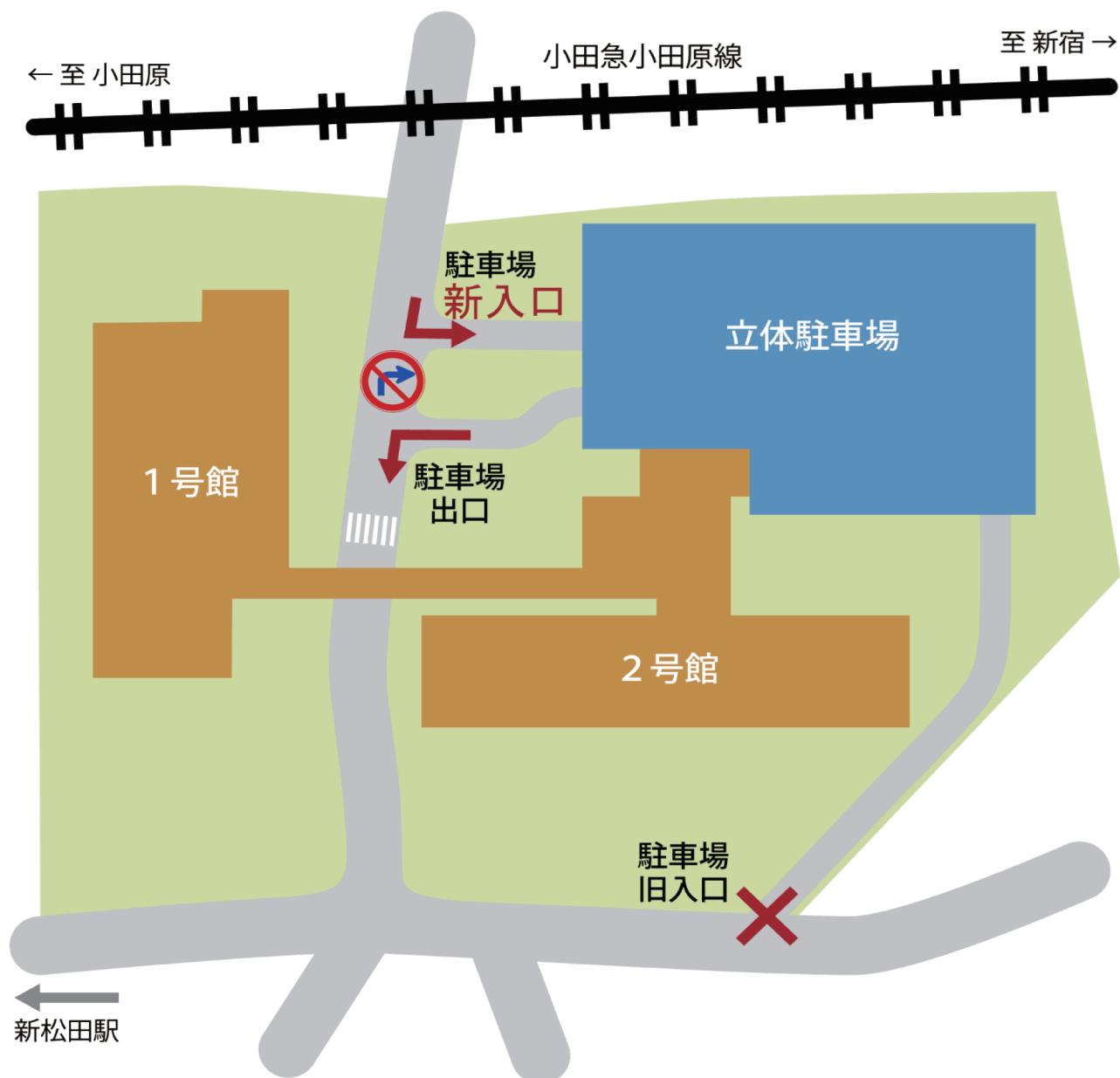
# 駐車場入口を変更します

## 駐車場利用のご案内

当院では、令和9年度の新棟開棟に向けて2号館の解体工事を行います。これに伴い、駐車場入口を変更いたします。これまでの駐車場入口は閉鎖し、ご利用いただけなくなりますのでご注意ください。また、駐車場の駐車可能台数も減少しますので、できるだけ公共交通機関でご来院いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

ご来院の皆様には、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力を願いいたします。

**入口変更時期；令和6年3月24日（日）14：00**



発行：神奈川県立足柄上病院 〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 866-1

(TEL) 0465-83-0351 (FAX) 0465-82-5377 <http://ashigarakami.kanagawa-pho.jp/>

編集：神奈川県立足柄上病院経営企画課（内線）5520

